

第3回 東大和市学校給食センター運営委員会・専門部会

< 報告 >

- 1 **日時** 平成26年1月15日(火) 午前9時30分～午後1時30分
- 2 **場所** 小平市立学校給食センター
- 3 **出席者** 6名
※視察には、教育委員2名が同行
- 4 **欠席者** 1名
- 5 **事務局** 3名
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **内容**

- (1) 小平市立学校給食センター視察 午前9時30分～12時30分
小平市立学校給食センターは中学校全校の給食を調理している。昭和57年開設当初から調理業務を民間委託により実施している施設の運営状況を視察し、給食を試食した。
また、小平市の小学校は全校自校式で市の正規職員により調理していたが、平成24年度から順次調理業務の民間委託化を進めている。導入の状況や保護者の反応などについて説明を受けた。
- (2) 諮問の審議 帰着後～午後1時30分
東大和市に帰着してから、視察した感想を踏まえ、第2回専門部会での審議内容に追加事項があるか審議を行った。
開設当初から30年以上民間委託により給食を調理している施設を視察し、給食を試食した結果、民間委託に対するイメージが良くなった、実際に試食して安心した、という感想が複数示された。

8 主な意見・質疑応答(要旨)

- (1) 視察の感想
 - 給食センターを見せてもらったのは初めてだが、意見交換できてよかった。民間委託導入の経緯なども聞けてよかった。
 - 民間委託に対する安心感を得ることができた。小学校給食(自校式)の調理委託についても、子どもや保護者の評判がよいとのことで、民間委託することに自信が持てると思った。
 - 民間委託について、よいイメージはなかったが、率直な説明をしていただき、よく理解できた。
 - 民間委託への悪い思いこみがあったが違った。試食してみても悪いところ

はない。

- 実際に見て、食べて安心できた。小平市では小学校給食（自校式）の調理委託実施にあたり何回も保護者へ説明したとのことであるが、東大和市でも丁寧な説明をしてもらいたい。
- 実際に見ることは大切だと感じた。民間委託のマイナスの部分があるとするれば、そこが大きくなる工夫を考えていきたい。センター方式では自校式に比べ、食育の点が弱いのではと懸念される部分を補いたいという考え方が参考になった。
- 給食調理を任せられる業者というのはどのくらいいるのか懸念していたが、30年以上問題なく調理を行っている経験のある、ちゃんとした会社があるとわかって安心した。
- P T A単位で何か説明会等行っても参加者が少ないので苦慮している。参加してもらう工夫をすることが、P T Aとしても必要だと考えている。

(2) 視察を踏まえた、質疑応答・審議

①新給食センターについて

- (質疑) 小平市で使用している食器と同じ材質を東大和の新給食センターでも使用すると考えてよいのか。→ (回答) そうである。「東大和市学校給食基本計画」(p 25)に掲載している。
- (質疑) 新給食センターではドライシステムとすると考えてよいのか。→ (回答) そうである。「東大和市学校給食基本計画」(p 11)に掲載しているが、調理室の床面を乾いた状態で使用することで、細菌やカビの繁殖を抑えるとともに、床面からの跳ね水による二次汚染を防ぐといった衛生管理面の向上や作業環境の改善が可能になる方式である。シンクや移動台などの調理機器も水がこぼれない返し等がついたものを使用する。
- (質疑) 新給食センターの調理機器の配置などはもう決まっているのか。→ (回答) 現在基本設計を行っており、今年度中に完成する予定である。そこで施設の概要、調理室や事務スペース、福利厚生スペース等のおおまかな配置等を決めていく。

②保護者への説明について <留意点>

- (質疑) 保護者への説明会については、時期・回数などの程度確定しているのか。→ (回答) 詳細は未定である。
- (意見) 年度が変わってすぐはP T Aも忙しく、総会后7月頃やっと落ち着く状態である。説明会の開催時間も昼の方が都合のいい人、夜の方が都合のいい人などばらばらなので、何度かに分けて実施してもらいたい。

③業者選定方法について <留意点>

- 子どもたちの口に入るものなので、金額だけで業者選定する入札方式では、

心配である。

- 金額を抜きにしては選定できないので、金額を含め、提案方式で選定することが望ましい。

④食育の充実について <留意点>

- (意見) 民間委託のメリットとして栄養士が時間を食育に充てられることがあると思う。どのように食育を推進していくのか、あらかじめ構想を立てておくべきである。